

# パーソナリティ障害を考える

\*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 日：2020年9月19日(土)・20日(日)

受講対象：小児科医師、精神科医師、臨床心理士、助産師、保健師、保育士、教師、社会福祉関係者など各機関・現場で子どもに関わる専門家および興味のある方々

定 員：80名(定員になり次第第切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料：12,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場：明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

1970年半ば、手首を切って周囲を引っ掻き回す若い女性患者が臨床現場に登場した時、私たちは瞠目し気を引き締めた。そして、DSM-Ⅲ(1980)が登場してパーソナリティ障害のカテゴリーが提示されて一区切りがついた感があった。しかし、これも時代とともに様態の変化があって、その対応に忙しい。さらに、21世紀になって問題になってきたのが発達障害であり、統合失調症の軽症化に伴うパーソナリティ障害との異同である。パーソナリティ障害の様態が複雑になってきた。さらに、これらの状態とかかわらねばならない家族の存在も無視できない。

これらを総合的に考えることができたらと思う。

【企画講師：市ヶ谷ひもろぎクリニック 名誉院長 牛島 定信】

## <プログラム>

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
9月19日(土)	14:00~15:30	総論：現在のパーソナリティ障害総論	市ヶ谷ひもろぎクリニック名誉院長 牛島 定信
	15:45~17:15	境界性パーソナリティ障害の現在	国際医療福祉大学三田病院 平島 奈津子
9月20日(日)	9:30~11:00	スキゾタイプル障害をめぐって -統合失調症との境界を考える-	聖みどり病院副院長 喜多 洋平
	11:15~12:45	パーソナリティ障害と発達障害	聖マリアンナ大学精神神経科医長 小野 和哉
	12:45~13:45	(昼食)各自おとりください	
	13:45~15:15	境界性パーソナリティ障害の治療 -家族を活用することはなぜ重要か-	黒田クリニック院長 黒田 章史
	15:30~16:00	質疑応答	出講講師

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。